

日光市の子育て支援事業を 紹介します！

市は、子育てをするお母さん・お父さんを手助けするため、さまざまな特色のある独自の事業を行っています。

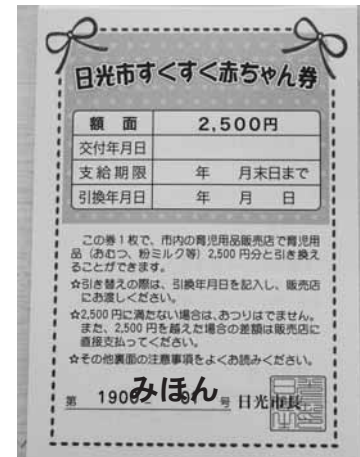
くわしくは
子育て支援課 ☎21-5186

市独自の子育て支援事業

市は、人口減少対策の最優先事項として、「子育て支援」を積極的に進めています。特に、これまで以上に経済負担の軽減を図るため、独自のさまざまな支援事業を実施しています。

すくすく赤ちゃん券

市内に住所があり1歳未満の子どもがいる保護者に、市内の販売店でおみややおしりふき、粉ミルクなどと交換できる「すくすく赤ちゃん券」を出生届や転入手続きの際に配布しています。



保育園などの保育料減免

同時入所の条件がなくなり、市内のすべての保育園や幼稚園、認定こども園の保育料が、第2子は半額に、



第3子は無料になります。

こども医療費

中学3年生までのお子さんが、県内の医療機関を受診する場合、健康保険が適用となる医療費については窓口での支払いが不要です。受診の際は健康保険証の他、受給資格者証を必ず提示してください。

ファミリー・サポート・センター事業

病児・病後児の保育や緊急の送迎預かりが必要なお子さんの医療機関への受診と保育、健康なお子さんのお泊り保育などを行っています。また、産前産後の体調不良などにより、家事や育児に困っている家庭を対象に日常生活の手伝いをします。

24時間電話相談業務

市家庭児童相談室は、家庭内の問題や子育ての悩みなどを、いつでも誰でも気軽に相談できるよう、専門相談員が24時間電話相談に応じています。

市家庭児童相談室 ☎(03)7830

拡充した子育て支援事業

市民の皆さんからの声を反映した子育て支援事業を紹介します。

地域子育て支援センター・親子ふれあいひろば

ショッピングプラザ日光(かましん)の4階に開設している地域子育て支援センターと各地域に開設している親子ふれあいひろばは、子育て中の保護者とお子さん(乳幼児)が自由に利用できる集いの場です。一緒に遊んで友達になったり、子育ての情報交換をしたりして交流を深めることができます。雨の日でも元気いっぱい遊ぶことができます。

地域子育て支援センターは、今年5月からは日曜日・祝日も開所しています。

日光・藤原地域に開設している親子ふれあいひろばは、開設日をこれ



地域子育て支援センターの様子

までの週3回から週5回(月曜～金曜日)に拡大し、新たに足尾・栗山地域も月に1回開設するようになりました。

子育てママの声

鹿妻有香さん(高德)

小学生・保育園児・7カ月児の3児の母です。保育園の第2子半額、第3子無料はとても助かります。富山県に住んでいる姉と子育てについての情報交換をしています。改めて日光市の支援の充実を実感しています。今後もソフト面での更なる充実を期待しています。



私は子育ては自分で責任を持つことが肝心で、行政サービスは素敵なおまけだと思っています。

池田章子さん(山内)

中学生・小学生・保育園児2人の4児の母です。今は、中学生の長男が生まれた頃から比べると、子育ての支援がとても手厚くなったと実感しています。特に、こども医療費の窓口負担が無くなったことは助かります。これまでは半年に一度は申請するようにしていましたが、領収書をしまい忘れていたりして、できませんでした。心して子育てできる環境作りに期待します。

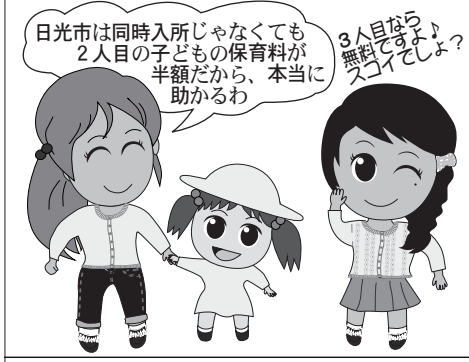
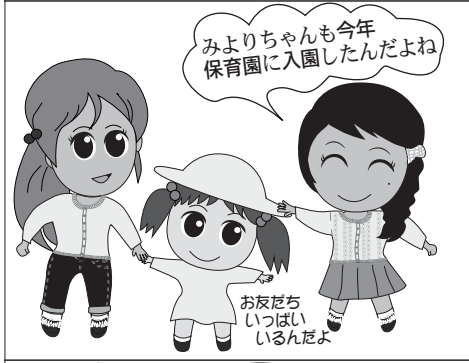
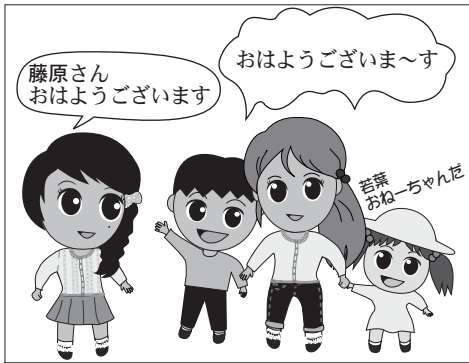


ました。これからは安心して子育てできる環境作りに期待します。

気軽に相談してください

市役所に入り、子育て支援課に配属になってから3年目となりました。毎日、窓口で、いろいろな手続きや相談に来られるお母さんやお父さんたちと接しています。最初の頃は、戸惑いや不安もありましたが、窓口でお話をする中で、すくすく赤ちゃん券や「こども医療費」の現物給付対象拡大など、「日光市の子育て支援は助かるわ」といった声を頂くと、とてもうれしくなります。私の仕事は、「子どもたちや子育て中の皆さんへのお手伝いになっているんだなあ」と思える瞬間で、とても励みになります。

これからの、普段、家事や育児、仕事でお忙しい皆さんにとって、「ほっと」ひと息つけるような温かい対応を心がけて頑張ります。子育てについてお困りのことや分からないことがありましたら、気軽に声を掛けてください。



子育て支援課主事
飯村 有紀菜